

先生各位

検査内容変更のご案内

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、下記に掲げる検査項目におきまして、測定試薬の変更させていただきたく取り急ぎご案内申し上げます。

先生方には大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

■実施日 2021年 3月 18日 (木) ご依頼分より

■変更項目および変更内容

案内書掲載頁	項目コード 統一コード	検査項目	変更箇所	新	現	備考
85	4151 4D115	アルドステロン	検査方法	CLEIA	IRMA (チューブ固相法)	測定試薬変更のため。
			基準値	4.0~82.1 pg/mL	pg/mL 随時: 35.7~240.0 臥位: 29.9~158.8 立位: 38.9~306.8	
			報告下限	4.0未満 pg/mL	2.0以下 pg/mL	
4591 4D115	PAC/PRA比 (アルドステロン/レニン 活性比)(ARR)	検査方法	計算法につきましては、裏面をご参照下さい。			

裏面もご確認下さい

ご不明な点等ございましたら貴院担当もしくは当社お客様窓口までお申し付けください。

【アルドステロン測定に関するお知らせ】

2018年10月に日本内分泌学会より「アルドステロン測定を行っている会員への重要なお知らせ」がありました。このお知らせには、特に測定キット間での数値の整合性を担保し、再現性ある精度の高い測定法を強く要望されており、異なる測定法に応じて、補正しうる方策を講じる必要があることが示されました。

(要旨)

- ①アルドステロン実試料認証物質として「アルドステロン分析用ヒト血清(NMIJ CRM 6402-a)」を設定した。
- ②カットオフ値(ARR)を適応するキットはアルドステロン分析用ヒト血清を用いてトレーサビリティを確保したのち、従来の臨床判断値が継続可能なように補正したものとする。
- ③日常検査法の評価及び日常検査法間差の縮小は、比較対照法のLC-MS/MSとの評価試験を通して実現させるものとする。

(日本内分泌学会/アルドステロン測定を行っている会員への重要なお知らせより改編)

※日本内分泌学会URL: http://www.j-endo.jp/modules/news/index.php?content_id=18

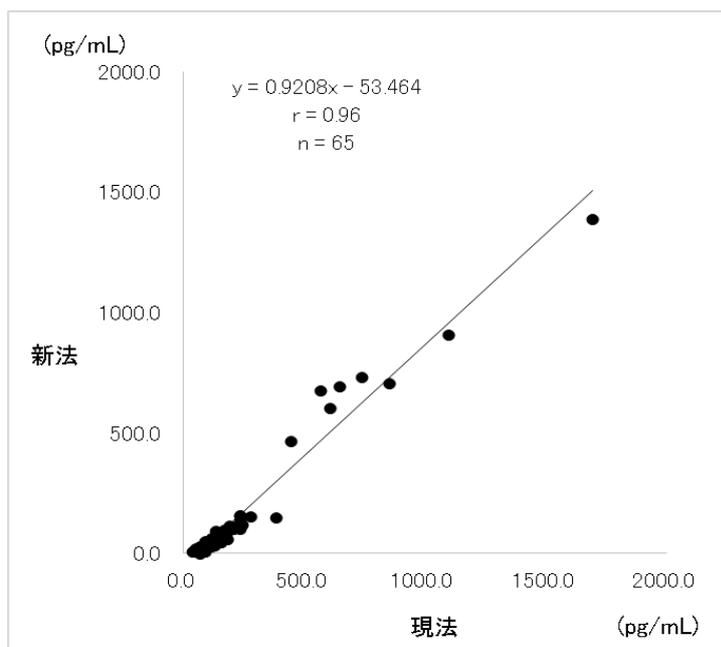
日本内分泌学会の方針を受け、当該検査項目(CLEIA法)はアルドステロン測定の標準化委員会で検討されたRIA法とLC-MS/MS法の相関、および本法とLC-MS/MS法の相関結果から考慮した従来の臨床判断値を継続する為の補正式をご案内致します。(試薬販売元の資料より)

$$Y(\text{RIA法相当値}) = 1.174 \times \text{CL値(アルドステロン CLEIA法測定値)} + 42.3$$

弊社では[4151]アルドステロン、[4591]アルドステロン/レニン活性比(ARR)の受託に際し、下記の通り対応させていただきます。

- ・アルドステロンの測定: 「補正なし」でご報告致します。
- ・アルドステロン/レニン活性比(ARR)の値: RIA法相当値で計算、ご報告いたします。

〈アルドステロン新旧相関〉



(社内検討データより)